



## INDEX

- ・今シーズンの高病原性鳥インフルエンザウイルス（HPAIV）の  
遺伝子解析の結果について..... 1
- ・令和3年度 鶏卵規格取引研修会の開催予定（中央鶏卵規格取引協議会）..... 3
- ・遺伝子組換え表示制度が変わります（鶏卵公正取引協議会）..... 4
- ・配合飼料供給価格の動向..... 5
- ・令和3年度丸粒とうもろこし関税割当申請について（農林水産省より）..... 6
- ・令和元年 農業総産出額（農林水産省より）..... 7
- ・統計データ..... 10
- ・協会活動報告..... 11

## 今シーズンの高病原性鳥インフルエンザウイルス（HPAIV）の 遺伝子解析の結果について

### 1. 今シーズンのH5N8亜型ウイルスの移動歴について

2004年以降アジアを中心に流行しているH5亜型を、ユーラシア型H5亜型と呼んでいる。2014-2018にかけてユーラシア型H5亜型が流行し、今シーズン日本を襲ったのは、2019-2020冬ヨーロッパの家きんから分離されたH5N8亜型（ヨーロッパ株）と推測できる。



### 2. 病原性について

香川2020株は高病原性であり、高ウイルス量を接種した場合の鶏の致死率は100%である。今シーズンのウイルス株の特徴は、感染してから死亡に至るまでの期間は有意に長く、感染実験では、香川2018株などと比較して4～5日長い。

### 3. 遺伝子解析結果について

ウイルス表面にあるたんぱく質の突起であるNA（ノイラミニダーゼ）とHA（ヘマグルチニン）の遺伝子を解析したところ、以下の計5種類の遺伝子型が見られた。なお、哺乳類に対して感染性を増加させるアミノ酸の変異は見られない。

- H5N8亜型系統（ヨーロッパ19-20冬系統）：4種類の遺伝子型
- H5N8亜型系統（ヨーロッパ20秋系統）：1種類の遺伝子型



#### 4. 今後の研究について

各遺伝子型の鶏への致死性や体内での増殖性、ウイルス排出の差異などの研究を通じて、感染機序等を明らかにし、今後の防疫措置に役立てたい。

([農研機構](#) [動物衛生研究部門](#) [WEBサイト](#)による)

### 高病原性鳥インフルエンザ (HPAIV) について (参考)

#### ① 高病原性鳥インフルエンザの概要

ポイント 高病原性 → H5, H7

高病原性鳥インフルエンザは20世紀までは比較的稀な疾病で（日本では1925年に発生）近年世界各地で発生するようになった。カモなどの野鳥がウイルスを伝播する可能性が示唆され日本でも2004年以降頻発している。

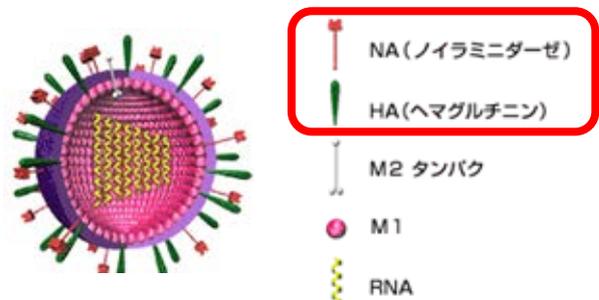
鳥インフルエンザウイルスはA型インフルエンザウイルスであり、その抗原性に重要な蛋白質として、ヘマグルチニン (HA) とノイラミニダーゼ (NA) がある。

HAは16種類、NAは9種類に分類され、この2つの蛋白質の組み合わせによって、分離されたウイルス株で144の血清亜型が決まる。

鳥インフルエンザウイルスは、鶏に対する高病原性と低病原性に分かれ、現在はHAの型が5か7 (H5, H7) の低病原性鳥インフルエンザウイルスが変異して高病原性になったものを高病原性鳥インフルエンザと称している。

世界各地の水生鳥類、特にカモ類から高率にウイルスが検出され、自然界における宿主はカモなどの水きん類と考えられている。

A型インフルエンザウイルスの構造



#### ② 高病原性鳥インフルエンザウイルスの疫学

ポイント 鳥インフルエンザウイルスの国内侵入ルート

- 1) 輸入鳥類 (家きん、愛がん鳥等)
- 2) 渡りの水きん類、野鳥
- 3) 発生国からの家きん肉や卵等
- 4) 海外の発生地からのヒト

#### 5. 今後の日本養鶏協会の対応について

農研機構動物衛生部門が更に研究を進め防疫措置に活用できる結果が出れば、農林水産省家畜衛生部局とも連携して防疫面で生産者が使いやすい情報として広く周知したい。



## 中央鶏卵規格取引協議会からのお知らせ

### 令和3年度 鶏卵規格取引研修会の開催を予定しています

令和3年度の鶏卵規格取引研修会を下記内容で開催する予定です。

ただし、新型コロナウイルス感染症の状況次第で中止する場合がありますので、予めご了承下さいませよう、お願い申し上げます。



### 記

#### 1. 趣旨

鶏卵規格取引要綱（農林水産事務次官通知）に基づき、新たに鶏卵の格付け責任者（卵重計量責任者）となる方及び格付け責任者の指導を行う方は、本研修を受講下さい。また、鶏卵に係る皆様で、参加ご希望の方も受講できます。

2. 開催日・場所・定員 東京会場 9月10日（金）（於）馬事畜産会館 定員50名予定  
京都会場 9月24日（金）（於）京都JA会館 定員50名予定

#### 3. カリキュラム（予定）

鶏卵の全般的情勢・鶏卵の品質・衛生管理・景品表示法・食品表示法・鶏卵の表示等を予定

#### 4. 受講申込み・受講費用

- (1) 受講希望者は、[当協議会WEBサイト](https://www.jpa.or.jp)の申込書に受講希望会場、受講者氏名等を記入し、事務局までお申込み下さい。（FAX可）
- (2) 受講費用：20,000円（テキスト、昼食費含む）
- (3) 申込み期限 東京会場：8月20日（金）  
京都会場：9月3日（金）  
（受講者が定員に達し次第締切ります。）

#### 5. 開催中止の場合

研修会の開催をやむなく中止する場合は、少なくとも開催1カ月前までに[当協議会WEBサイト](https://www.jpa.or.jp)でお知らせしますので、お申込者は随時確認をお願いいたします。

6. WEBサイト [https://www.jpa.or.jp/chuo\\_root/](https://www.jpa.or.jp/chuo_root/)

[中央鶏卵規格取引協議会 事務局 \(https://www.jpa.or.jp/chuo\\_root/\)](https://www.jpa.or.jp/chuo_root/)

E-mail : [teritama@jpa.or.jp](mailto:teritama@jpa.or.jp)

Tel : 03-3297-5516 Fax : 03-3297-5519

担当 : 重本、田淵、太田



## 鶏卵公正取引協議会からのお知らせ

**遺伝子組換え表示制度が変わります（2023年4月1日から施行）**  
このため、鶏卵の「遺伝子組換えでない」等の表示も要注意です。

加工食品の遺伝子組換え表示制度には、義務表示と任意表示があります。

加工食品の任意表示は、2023年4月1日から新しい制度になります。

現在は5%以下の意図せざる混入であれば「遺伝子組換えではない」と表示できますが、新制度では「遺伝子検出がない」もののみ「遺伝子組換えではない」と表記でき、5%以下の混入は「分別生産流通管理」という表示となります。制度の概要に関しては、消費者庁のパンフレット「[知っていますか？遺伝子組換え表示制度（PDF）](#)」をご覧ください。

### ■「知っていますか？遺伝子組換え表示制度（PDF）」

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/quality/genetically\\_modified/pdf/genetically\\_modified\\_190425\\_0003.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/quality/genetically_modified/pdf/genetically_modified_190425_0003.pdf)

鶏卵は「加工食品」ではありませんが、消費者の遺伝子組換えに関する認識が変わるため、消費者に誤認を与える表示は避ける必要があります。

消費者庁も「[新たな遺伝子組換え表示制度に係る考え方（補足資料）](#)」の中で、「例えば、分別生産流通管理された飼料で飼育された場合は、「分別生産流通管理された飼料で飼育された…」等、正確に表現することが望ましいと考えます。」とコメントしています。

このため現在5%以下の混入で「遺伝子組換えではない」と表示している場合は、2023年4月1日以降は不当表示に該当する可能性がありますので、充分ご注意ください。

### ■新たな遺伝子組換え表示制度に係る考え方（補足資料）

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/quality/genetically\\_modified/pdf/genetically\\_modified\\_190425\\_0002.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/quality/genetically_modified/pdf/genetically_modified_190425_0002.pdf)

## 参考 加工食品の遺伝子組換え表示制度変更点

### 【現行制度】

- ◆分別生産流通管理をしていて、意図せざる混入を5%以下に抑えている大豆およびとうもろこし並びにそれらを原材料としている加工食品  
表示方法「遺伝子組換えでないものを分別」「遺伝子組換えでない」などの表示が可能

### 【新制度】

- ◆分別生産流通管理をしていて、意図せざる混入を5%以下に抑えている大豆及びとうもろこし並びにそれらを原材料としている加工食品  
表示方法 適切に分別生産流通管理された旨の表示が可能



具体的には「原材料に使用しているトウモロコシは、遺伝子組換えの混入を防ぐため  
分別生産流通管理を行っています」「大豆（**分別生産流通管理済み**）」等

◆分別生産流通管理をして、遺伝子組換えの混入がないと認められる大豆及びとうもろ  
こし並びにそれらを原材料にしている加工食品

表示方法「非遺伝子組換え」「**遺伝子組換えでない**」等の表示が可能

## 鶏卵公正競争規約での「遺伝子組換え表示」

鶏卵公正競争規約では、「表示対象の鶏卵を産卵する鶏に給餌する飼料（当該飼料の原材  
料を含む。）について遺伝子組換えをしていない旨又はポストハーベスト作業をしていな  
い旨の表示に関する事項」を表示する場合は、「表示対象の鶏卵を産卵する鶏に給餌する飼  
料（当該飼料の原材料を含む。）について、遺伝子組換えしていないこと又はポストハーベ  
スト作業をしていないことが証明される場合に限る。」と取り決められています。

一般に飼料の場合は、分別生産流通のコストから考えて、遺伝子組換えの混入がないと  
されるものは、殆どないのではないかと推察されます。

鶏卵公正取引協議会 事務局 ([https://www.jpa.or.jp/keiran\\_root/](https://www.jpa.or.jp/keiran_root/))

E-mail : [teritama@jpa.or.jp](mailto:teritama@jpa.or.jp)

Tel : 03-3297-5516

担当 : 重本、田淵、太田



会員証紙  
(公正マーク)

## 配合飼料供給価格の動向

令和3年4～6月期の配合飼料供給価格については、飼料情勢・外国為替情勢等を踏ま  
え、令和3年1～3月期に対し、全国全畜種総平均トン当たり5,500円値上げすることを決定  
しました。なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

| 区 分   | 1～3月期  | 4～6月期  | 7～9月期  | 10～12月期 |
|-------|--------|--------|--------|---------|
| 令和3年  | ↑3,900 | ↑5,500 | —      | —       |
| 令和2年  | ↑ 700  | ▼ 800  | ▼1,000 | ↑ 1,350 |
| 令和元年  | ↑ 500  | ▼ 850  | ▼ 400  | ▼ 650   |
| 平成30年 | ↑1,500 | ↑1,100 | ↑1,550 | ▼ 800   |
| 平成29年 | ↑1,950 | ↑ 700  | ▼1,100 | ▼ 400   |

出典：全国農業協同組合連合会（JA全農）「配合飼料供給価格」

### ■令和3年4～6月期の配合飼料供給価格改定について

<https://www.zenoh.or.jp/press/release/2021/81488.html>

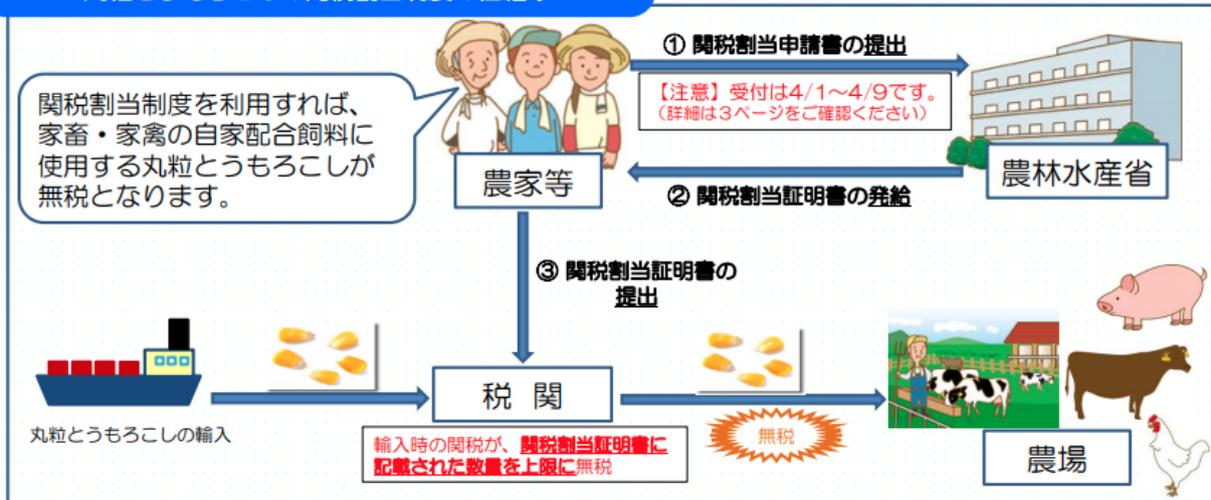


## 令和3年度丸粒とうもろこし関税割当申請について（農林水産省より）

令和3年度単体飼料丸粒とうもろこしの関税割当申請受付は4/1～4/9となります。ご活用の皆様にあつては、お忘れなく期限内での申請をお願いいたします。

### 丸粒とうもろこしの関税割当制度を活用しよう！

#### 丸粒とうもろこしの関税割当制度の仕組み



#### 利用者の現況《利用者数と使用数量（令和元年度）》

##### 乳牛・肉牛生産者

利用者数 49者  
使用数量 約3.2万ト



##### 養豚生産者

利用者数 90者  
使用数量 約22.1万ト



##### 養鶏生産者

利用者数 19者  
利用数量 約2.5万ト



利用の申請をされる方の多くは、自家配合飼料を利用する畜産農家や、畜産農家に飼料を販売する販売者・組合等です。

申請書類の準備や輸入の通関手続き等は、利用者本人ではなく輸入を代行する業者等に委託することもできます。



#### ■丸粒とうもろこしの関税割当制度の紹介（パンフレット）

[https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l\\_siryo/attach/pdf/index-597.pdf](https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l_siryo/attach/pdf/index-597.pdf)

#### ■令和3年度関税割当公表（手続公表） ※申請手続きについて定めた規程

[https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l\\_siryo/attach/pdf/index-595.pdf](https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l_siryo/attach/pdf/index-595.pdf)

#### ■お問い合わせ

農林水産省 生産局 畜産部 飼料課 流通飼料対策室 需給対策第1班

Tel : 03-3502-8111（内線4915）

03-3591-6745（直通）



## 令和元年 農業総産出額（農林水産省より）

### 1. 農業総産出額

農業総産出額は、近年、米、野菜、肉用牛等における需要に応じた生産の取組が進められてきたこと等を主たる要因として増加傾向で推移してきました。

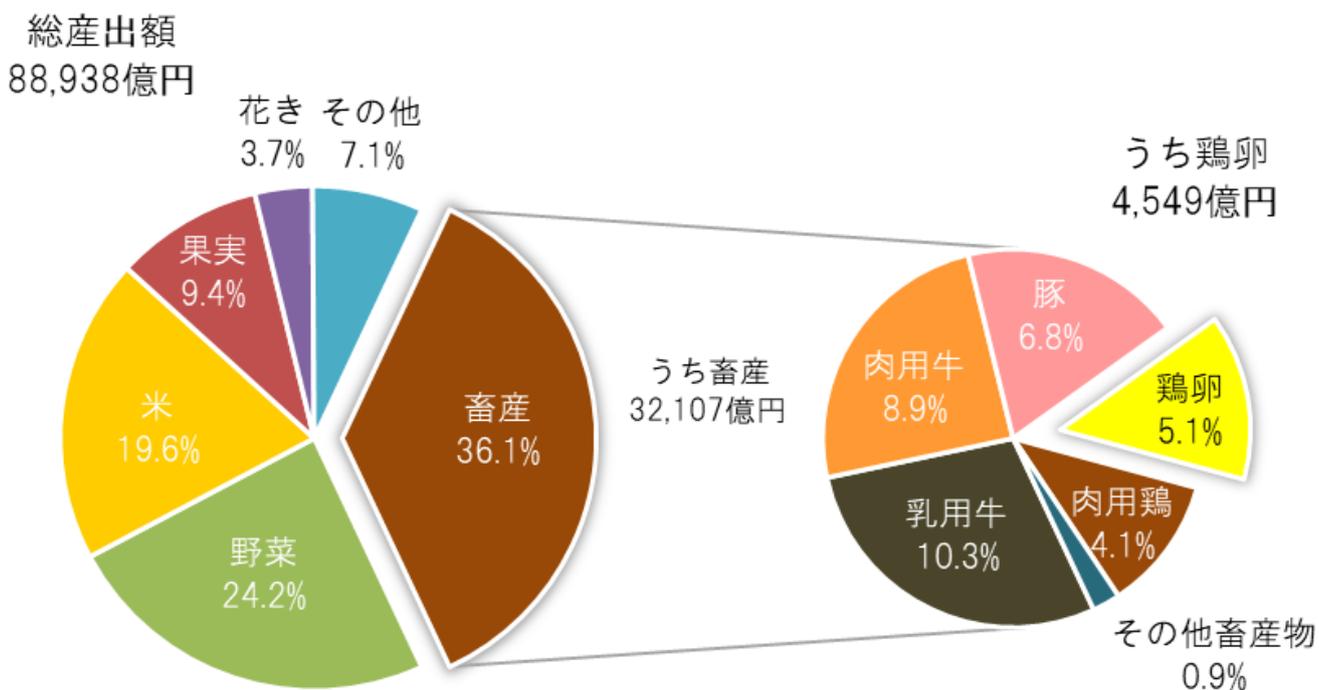
令和元年は、野菜、鶏卵等において生産量の増加から価格が低下したこと等により、前年に比べ1,620億円減少し、8兆8,938億円（対前年増減率1.8%減少）となりました。

畜産部門は農業総産出額全体の36.1%を占めており、3兆2,107億円で前年に比べ22億円減少しました。

総産出額を畜種別にみると、乳用牛が9,193億円（うち生乳7,628億円）で畜産総産出額の28.6%を占めており、次いで肉用牛の7,880億円（同24.5%）、豚6,064億円（同18.9%）となっています。

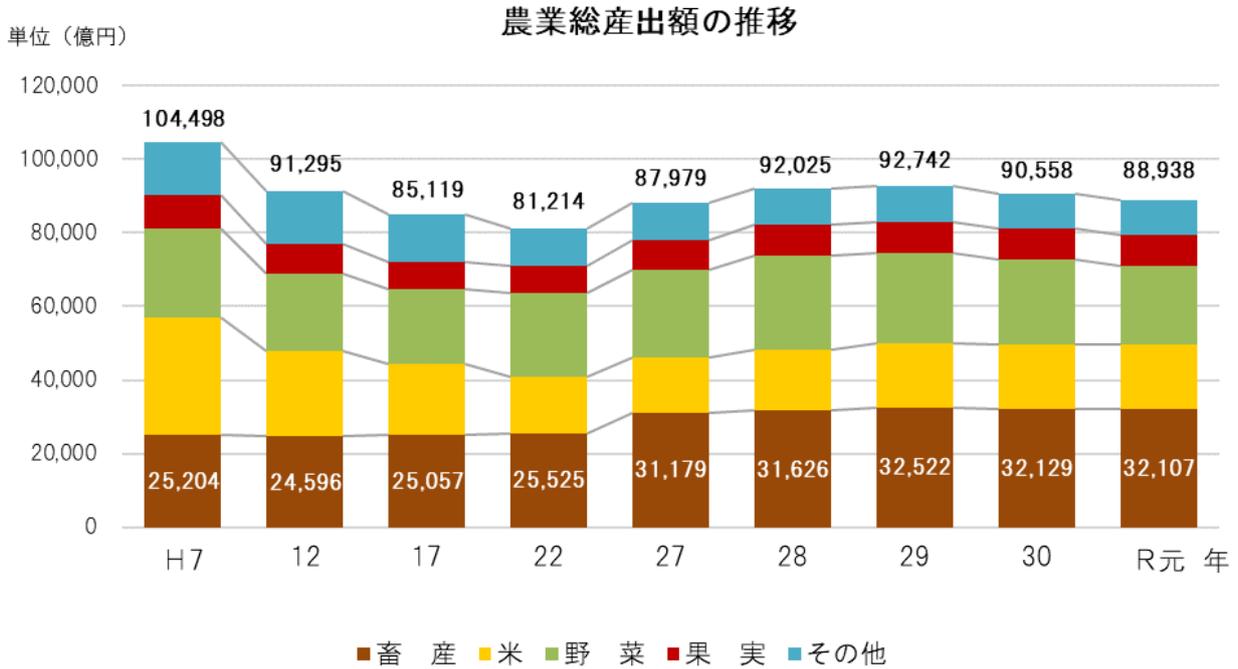
鶏卵は4,549億円（同14.2%）で、前年に比べ263億円（平成30年：4,812億円）減となりました。

### 令和元年 農業総産出額 内訳





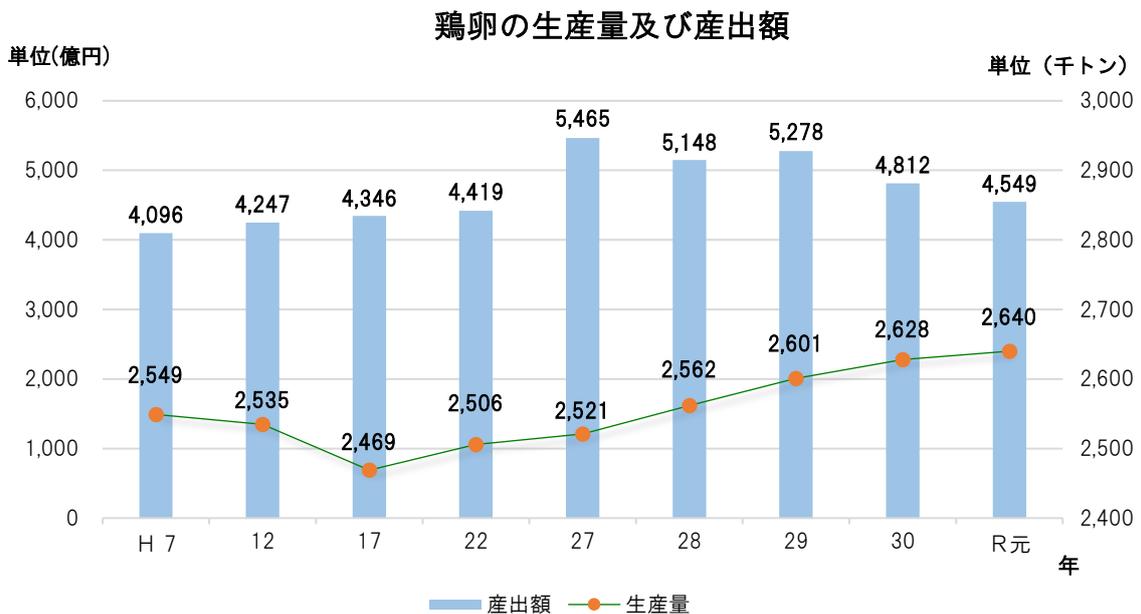
## 2. 農業総産出額の推移



## 3. 鶏卵産出額

近年、他の食品に比べて相対的に割安感があること等から、鶏卵の消費量が増加傾向にある中で、経営の大規模化の進展に伴い生産量が拡大し、特に平成29年以降は毎年、過去最高を更新しており、平成26年以降、鶏卵の産出額は5千億円前後で推移してきました。

令和元年は、前年に比べ263億円減少し、4,549億円（同5.5%減少）となりました。これは、堅調な鶏卵需要を見越して、令和元年も引き続き生産量が増加したことから、需給緩和により9月までの価格が前年を下回る等、低水準で推移したことが影響したものと考えられます。

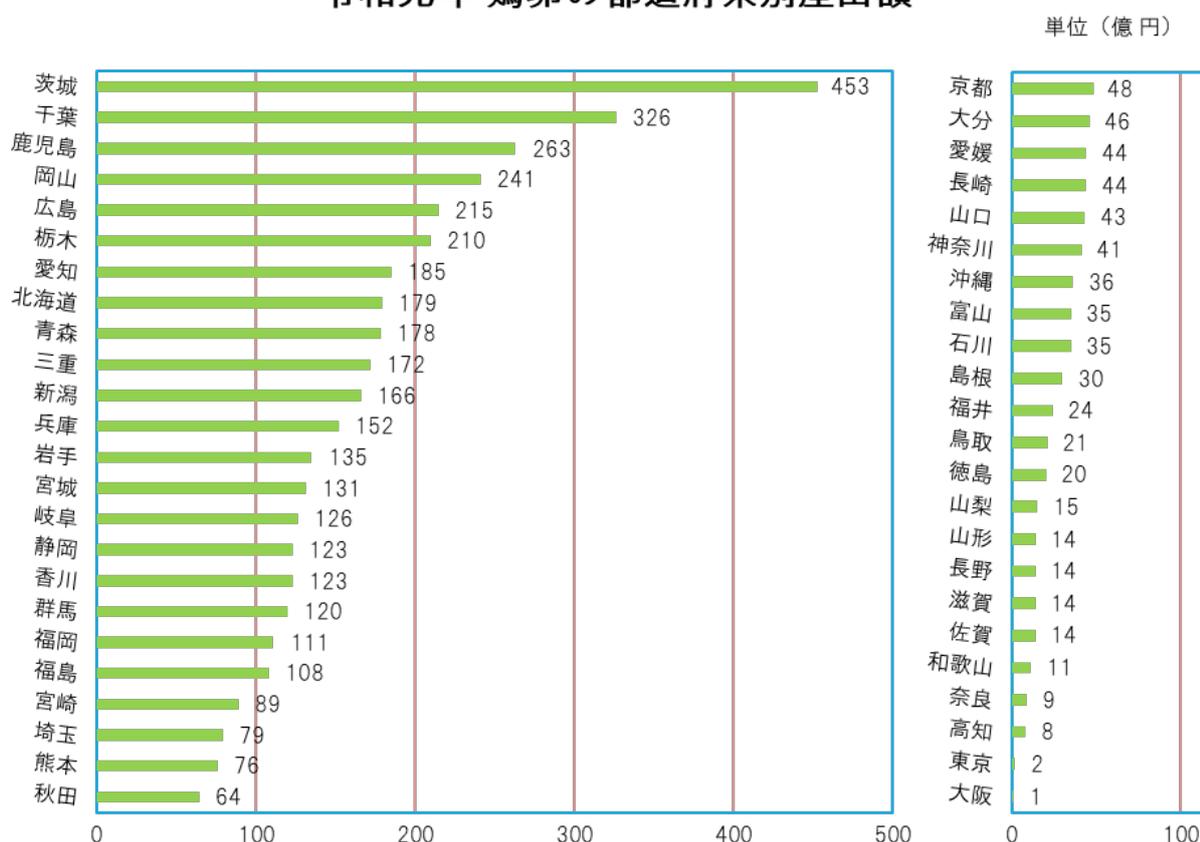




#### 4. 鶏卵産出額（都道府県別）

鶏卵の都道府県別産出額をみると、茨城県が453億円（構成比9.86%）と最も高く、2位千葉県326億円、3位鹿児島県263億円、4位岡山県241億円、5位広島県215億円の順になっており、上位5県で生産量の32.61%を占めています。

令和元年 鶏卵の都道府県別産出額



#### ■ 生産農業所得統計

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou\\_sansyutu/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/)

#### ■ 令和元年農業総産出額及び生産農業所得（全国）

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka\\_gaiyou/seisan\\_shotoku/r1\\_zenkoku/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/seisan_shotoku/r1_zenkoku/)

#### ■ 令和元年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka\\_gaiyou/seisan\\_shotoku/r1\\_betsu/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/seisan_shotoku/r1_betsu/)



## 統計データ

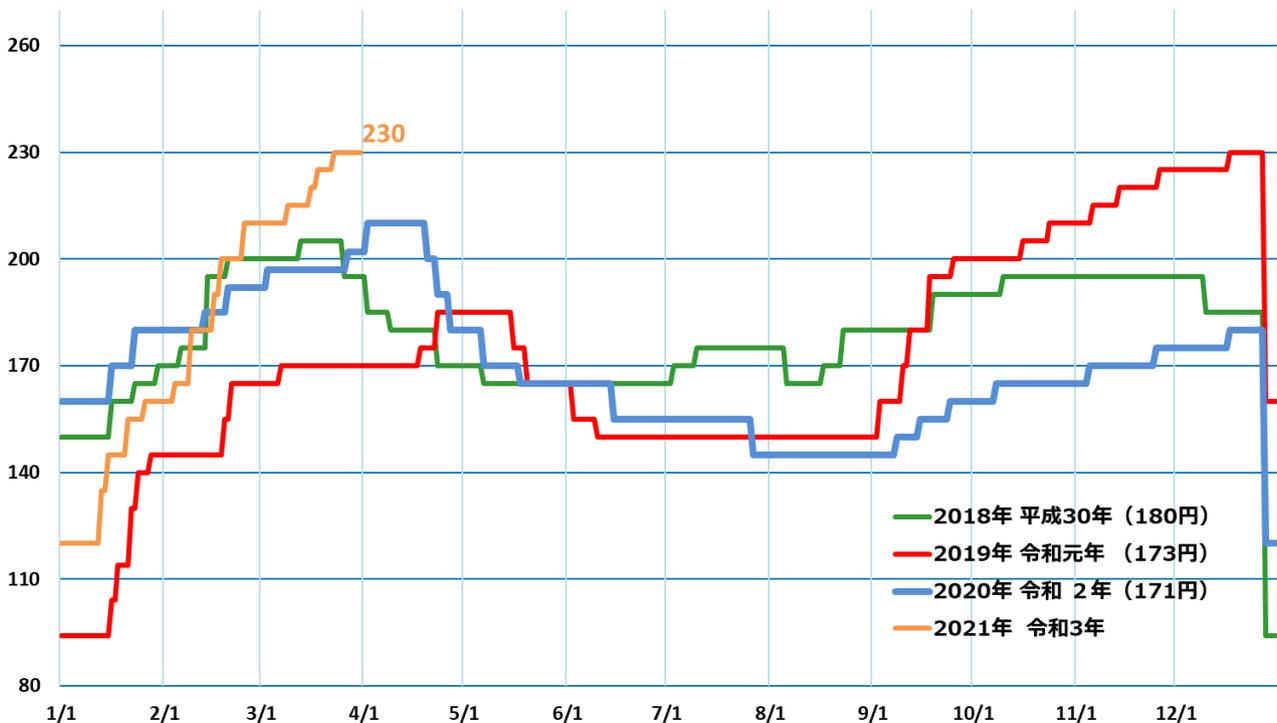
### 鶏卵相場動向 — 過去10年間の3月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

|       | 平均値 | 高値  | 安値  |
|-------|-----|-----|-----|
| 平成24年 | 178 | 203 | 169 |
| 平成25年 | 175 | 208 | 164 |
| 平成26年 | 230 | 248 | 224 |
| 平成27年 | 219 | 238 | 209 |
| 平成28年 | 215 | 233 | 209 |
| 平成29年 | 217 | 238 | 204 |
| 平成30年 | 201 | 223 | 189 |
| 令和元年  | 169 | 188 | 159 |
| 令和2年  | 197 | 222 | 186 |
| 令和3年  | 220 | 250 | 204 |
| 平均値   | 202 | 225 | 192 |

令和3年3月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値 250 円は、過去10年の平均値 225 円を 25 円上回り、安値 204 円は、過去10年の平均値 192 円を 12 円上回っています。



### 鶏卵相場推移 2018年～2021年 東京全農Mサイズ 円/kg



2月に200円台まで回復し3月末には230円まで上がりました。昨年からの鳥インフルエンザの発生が続き、緊急事態宣言の解除による需要増も見込まれます。



## 鶏卵関係主要計数 —— 令和3年1月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

|                | 雛餌付羽数(出荷) |        | 配合飼料出荷量 |        | 家計消費量  |        | 鶏卵相場    |         |
|----------------|-----------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|
|                |           |        | 成鶏用     |        | 一人当たり  |        | 東京全農M   |         |
|                | 数量(千羽)    | 前年比    | 数量(千ト)  | 前年比    | 数量(g)  | 前年比    | 前年      | 本年      |
| 2年 2月          | 8,509     | 102.6% | 473     | 102.0% | 926    | 112.0% | 152     | 185     |
| 3月             | 10,112    | 112.4% | 499     | 100.8% | 1,014  | 110.9% | 169     | 197     |
| 4月             | 9,292     | 100.7% | 501     | 99.5%  | 1,036  | 115.2% | 174     | 202     |
| 5月             | 9,606     | 102.6% | 472     | 94.6%  | 1,031  | 114.4% | 173     | 168     |
| 6月             | 9,353     | 112.8% | 470     | 102.9% | 936    | 101.8% | 151     | 160     |
| 7月             | 9,863     | 100.2% | 484     | 98.5%  | 966    | 108.4% | 150     | 153     |
| 8月             | 8,298     | 104.2% | 444     | 97.2%  | 931    | 107.1% | 150     | 145     |
| 9月             | 8,025     | 89.6%  | 456     | 101.6% | 908    | 104.8% | 179     | 153     |
| 10月            | 8,978     | 100.1% | 489     | 98.4%  | 983    | 105.8% | 204     | 164     |
| 11月            | 8,950     | 93.3%  | 472     | 96.2%  | 949    | 107.8% | 219     | 171     |
| 12月            | 8,602     | 97.0%  | 529     | 100.4% | 1,007  | 109.8% | 227     | 178     |
| 3年 1月          | 8,518     | 83.9%  | 450     | 93.4%  | 951    | 115.0% | 170     | 142     |
| 1年間合計<br>平均(%) | 108,106   | 100.0% | 5,739   | 98.8%  | 11,638 | 109.4% | 177(平均) | 168(平均) |

- ・雛餌付羽数は、8,518千羽（前年比83.9%）と前年比16.1%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、450千トン（前年比93.4%）と前年比6.6%減です。
- ・鶏卵の家計消費量は、951グラム（前年比115.0%）と前年比15.0%増となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の28円安を示しました。

### 協会活動報告

【お知らせ】 3月に「鶏卵の需給見通し」を発行しました。

### 鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

- ① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量（トン/月当たり）

|        |         |
|--------|---------|
| 平成30年度 | 169,171 |
| 令和元年度  | 167,141 |
| 令和2年度  | 163,160 |
| 令和3年度  | 153,391 |

- ③ 鶏卵価格差補填事業  
補填基準価格 181円/kg  
安定基準価格 159円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会  
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)  
TEL：03-3297-5515 FAX：03-3297-5519 発行日：2021年4月2日  
編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)